

河津町まち・ひと・しごと創生総合戦略とは

わが国では、急速な少子高齢化による人口減少、首都圏への人口の過度な集中が進行するなか、それぞれの地域で住みよい環境を確保し、将来にわたって活力ある社会を維持していくことが喫緊の課題となっています。

国においては、これらの課題解決に向け、「まち・ひと・しごと創生法」の制定と、人口の現状と将来の姿を示し、今後目指すべき将来の方向性を明らかにした「長期ビジョン」また、これを踏まえた今後5カ年の目標や施策の基本的方向、具体的施策をまとめた「まち・ひと・しごと創生総合戦略」を策定しました。

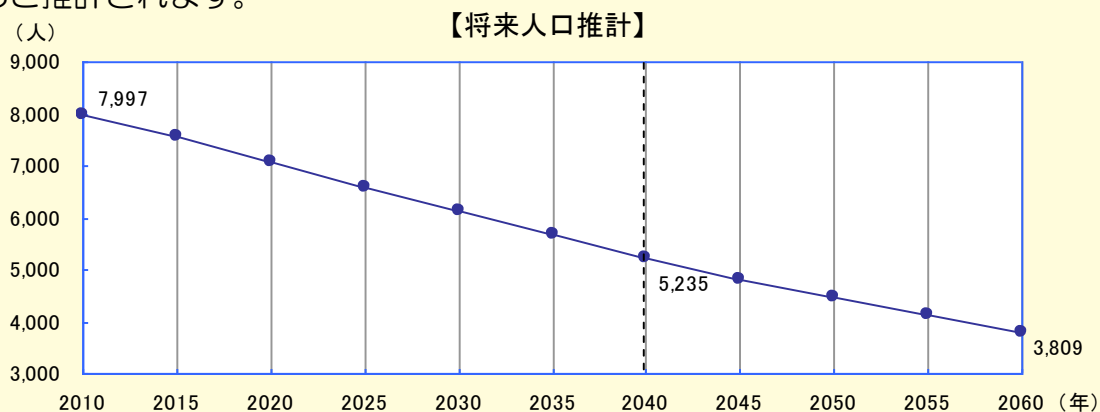
本町においても、国の「まち・ひと・しごと創生総合戦略」の基本的な考え方を基に、人口減少と地域経済縮小の克服、まち・ひと・しごとの創生と好循環の確立を目指し、「河津町人口ビジョン」及び「河津町まち・ひと・しごと創生総合戦略」を策定しました。

河津町人口ビジョン（その1）

河津町人口ビジョンでは、本町における人口の現状と人口の将来展望を示します。総合戦略を考えるための基礎的な資料となります。

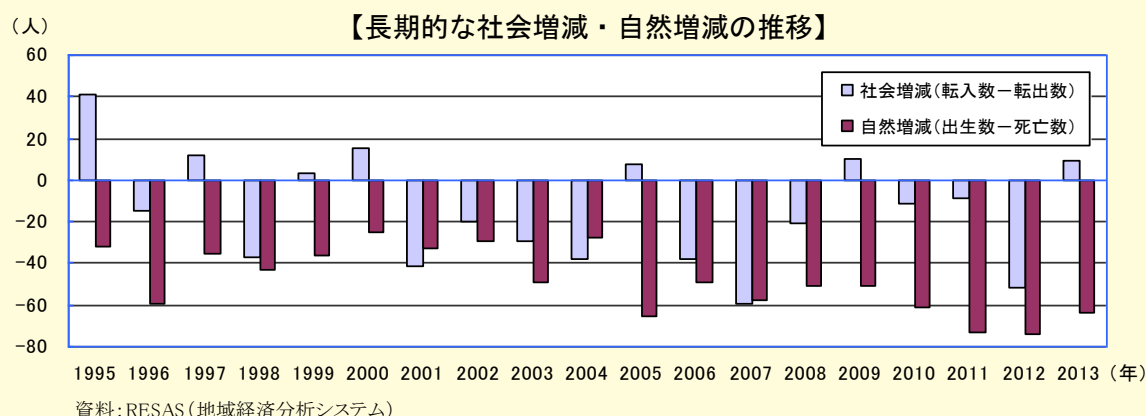
現状を基にした河津町の将来人口推計

大幅な人口減少が見込まれます。平成72（2060）年には現在の約5割、約3,800人まで減少すると推計されます。



自然増減・社会増減の状況

少子高齢化を反映して生まれる子どもの数が少なく、転入・転出については年によってバラツキがありますが、多くの年で転出が転入を上回ります。



河津町人口ビジョン（その2）

施策効果により転出が抑制され、転入が増えるとともに出生数も改善されると仮定した場合の河津町の将来人口

出生率の向上

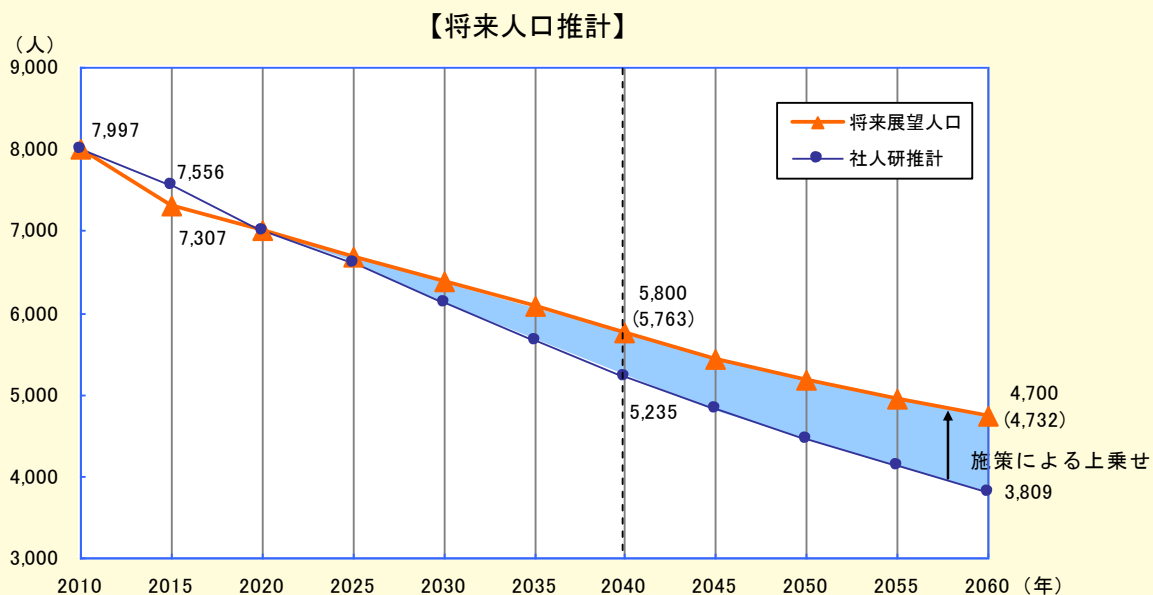
合計特殊出生率については、国の目標と同じく平成32（2020）年までに1.8を達成し、平成47年（2035）年には1.94を達成すると想定します。

転出数の抑制、転入数の増加

転出、特に若年世代の転出を抑制する一方、子育て世代を中心に転入が増加すると仮定します。

仮定した場合の将来人口

出生率の向上、転出数の抑制、転入数の増加と仮定した場合、平成72（2060）年には、約4,730人と推計されます。現状をベースに考えた時の将来人口に比べ、約1,000人の増加が見込まれます。



将来目標人口は、平成72（2060）年に約4,730人を見込みます。



発行 河津町まちづくり推進課
〒413-0595
静岡県賀茂郡河津町田中 212-2
TEL 0558-34-1111（代）
<http://www.town.kawazu.shizuoka.jp/>
発行日 平成28年3月